

あなたも「響動実習」に行ってみませんか —Callingへのresponsibilityを培う教育支援協働活動—

響動実習へのPassion

「人を教育しようという衝動やそういう使命感は、自分自身が調和を得ていることから生ずるものではなく、それは自分自身に問題があり、調和を得ていないこと、困難な事情、自分自身の窮状を告白するようなところから出てくるものなのです」これはドイツの作家トーマス・マンの言葉です。進路に悩んだり迷ったりしたときこそ、自分の窮状を見つめるとともに、困っている子どもや学校や地域からあなたを呼ぶ声に感応して、それにこたえてみることで、自分を確かめてみませんか？

教職に必要なresponsibilityを養う実習が「響動実習」です。



実習、地域行事への参加

響動実習のMission

教員養成の基調が、教師として知っておくべき「基礎的な知識の教授」から教職という専門的総合職での自律的で創造的な問題解決や資源調達に必要十分な「資質・能力の育成」へと変わろうとしています。しかし、大学の教室で、さまざまな状況への判断力や対応力を育成することには困難があります。

昨年度まで約十年続いた「遠隔地実習」では小規模な学校で、地域の熱い思いを感じながら、実践力と感性を高めてきました。

一人では出来ないことでも、仲間とやれば出来ることがあります。それによって力を伸ばしていくことが、遠隔地実習を引き継いだ「響動実習」の特徴です。思いをともにする仲間たちと、寝食を共にしながら鍛え合う活動で子どもたちと関わる力を確かめ、伸ばすことが出来ます。



実習校から大阪教育大への修学旅行



実習、集団生活 コーホート効果



実習校：三重県 津市立川口小学校
山に囲まれた小規模校
人権教育が大切にされています

期 間：9月2日(日)～9月16日(日)
宿 泊：公営館で自泊
募集人数：6～7人

長野県白馬村立白馬南小学校
愛知県西尾市立佐久島小学校
からも受け入れの了解を頂戴しています。
希望者の人数がそろえば、期間等
に違いがありますが、川口小学校
と同様に実施が可能です。
小規模校での「響動実習」に挑戦
してみたい方を応援します。
詳しいはガイダンスです。

主催：大阪教育大学

教職教育研究センター

問い合わせ先：教職研究室

C 5-10-6

baru@cc.osaka-u.ac.jp

響動実習のVision

この実習では、大阪府の内外を問わず、また学校のみならず、広く「教育」に関わる施設等と呼応できる関係を、学生諸君自らがつくります。また他大学の学生との「他流試合」も含め、主体的な組織活動を展開する力量をつけます。

今年も、三重・愛知・長野の山間や海辺の小学校で、合宿しながらの実習が9月に2週間実施されます。

来年度は島根県隠岐島の海士町とも連携し小中学校だけでなく、高校や社会教育施設でも実習させていただく関係を築いています。実習だけでなく、修学旅行で、この柏原キャンパスにやってくる小学生や中学生とも再会できます。

響動実習のAction

これまで、教員養成課程の2回生対象に実施してきましたが、来年度からは学年や課程・学科の枠をなくし、意欲的な学生に参加してもらえるようactionの幅を広げる一方、ガイダンスや事前・事中・事後の手厚い指導も続けます。また皆さんからの企画提案も募集したいとも思います。この実習を経験して子どもや学校や地域のcallingに応えた人たちが、実際に教師として、また教育関係者として、どう育ち、活躍されているか、その調査研究も始動します。そう、callingには「天職」の意味もあるのです。

「響動実習」に
行ってみませんか！

児童・生徒理解、教職理解、課題発見の3点を目標に、これまでの2回生を対象に実施してきた「遠隔地実習」よりニューアルし、大学・学校・地域が「響き合い」で適切な連携関係のもとで、小規模校での集団生活を通して、学生諸君に教職の生命線としての自律性と創造性を育むことを目的に「響動実習」を立ち上げます。5月以降、9月の実習にかけて1回程度の事前指導を実施し、10月には体験をためめる機会も持ちはます。

・興味のある人に対して、ガイダンスを実施しますので、聞いてみてください。
5月30日(水) 13時30分から C5棟306教室

<注意>「響動実習」は本学の教育実習体系に含まれるものではありません。
単位付与はなく、成績とは無関係です。また、インターンシップ活動等に
支障がでる形での参加もできません。交通費・宿泊費・保険料等の実費
参加者負担です。それでも参加してみようと思う人を募ります。